

介護ウェーブ 2019 推進ニュース

-無差別平等の介護と福祉を-

STOP! 介護改悪

2019年11月29日発行 No.11



11月11日「介護の日」に合わせた各地の取り組み

○ 徳島民医連

介護事業所で働く職員を中心に31人が参加して徳島駅前広場で介護ウェーブ「介護の日宣伝行動」を行いました。職員から「新たな介護保険の改悪をやめ、利用者が必要なサービスが受けられる制度にしましょう」と訴え63筆の署名を集めました。



○ 東京民医連

11月11日に中野駅前介護署名宣伝行動を行いました。シール投票も行い、不安に思う項目が複数あること、若い人も将来のこと考えている様子が見受けられました。

また、11月12日に第9回居宅介護支援事業所責任者交流会を開催し、43人が参加しました。事業所より要介護認定の動向や新人・中途研修の取組み、ターミナルケアマネジメントと加算取得の指定報告を受け、全体で討論を深めました。



○ 大阪民医連

11月11日に京橋と堺東で「介護ウェーブ署名行動」を行いました。京橋には150名の、堺東には33名の介護職員を中心とした職員が参加し、合計134筆の署名が集まりました。また、医療生協かわち野ではケアマネジャーが地域の介護事業所まわり署名活動を行いました。



○ 神奈川民医連

11月9日に「介護の日行動」を行いました。『学習』『宣伝』『交流』の3部構成で、58名の職員が参加しました。『学習』では各事業所より「やりがい事例」について発表をうけ様々な症例や取り組みを共有しました。『宣伝』では横浜駅前で請願署名への協力を訴えました。『交流』では、32名が参加し他の事業所職員と交流を深めました。



○ 山梨民医連

11月11日に甲府駅前でリレートークと署名活動を行いました。42名が参加し76筆を集めました。共立在宅ケアセンター巨摩では、玄関前にコーナーを設置し、ティッシュを配りながら介護保険改善署名の訴え、26筆の署名を集めました。



○ 長崎民医連

11月11日に宣伝行動を行いました。29名が参加し、3名の職員がリレートークを行いました。また、地元TVの取材も受け、介護保険の実態を訴えました。



○ 京都民医連

11月10日に四条河原町で宣伝行動を行いました。職員の家族も参加し、80名を超える大きな宣伝行動となりました。参加者は介護ウェアップTシャツや・腕章を身に着け、メッセージボードを掲げて宣伝しました。



○ 兵庫民医連

11月14日に神戸三宮の駅前にて介護ウェブ活動を実施しました。活動前に医療生協かわち野の今田健司氏を講師に招き、民医連の介護・福祉の理念と介護ウェブについての学習会を開催しました。



○ 福岡・佐賀民医連

11月16日に介護ウェアップ2019学習会を行いました。82名と弁護士1名が参加し介護現場におけるハラスメントについて学習を行いました。グループワークでは、現場で起こり得る具体的な事例を想定し実践的に学びました。また、学習会の前には約30名が参加し博多駅前で署名行動を行いました。



○ 厚労省・介護保険部会（11月27日）報告

11月27日に厚生労働省第86回社会保障審議会介護保険部会が開催されました。「給付と負担の見直し」の検討項目のうち、「被保険者範囲・受給者範囲」、「現金給付」は今回の論点から除外されました。また、「ケアプラン有料化見送り」との報道が一部ありますが、部会では審議が続けられています。

※厚労省:資料5参照 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08085.html)



「介護署名2019」の集約は12月27日（金）です。
お手元に署名がありましたら
全日本までお送りください



= お問い合わせ先 =

全日本民医連 医療介護福祉部 事務局 山川/小又
TEL : 03-5842-6451 E-mail : min-kaigo@min-iren.gr.jp